

雇に於しより附止としちまのひある

諸元が考し道第几内合の仕供をせしりし事たもようも
老くられざるが明ももはばす今白比今國統するがよ
第御知念にまじり終くまじしを世界の方像有る事
に大いりてを破しおま事に終し終く

（メーデーの歌）（玉杯の節） 六頁七頁

諸子存すんたか

あぐ大いりてしよメーデーよ

飢餓窮乏の恐怖まじり
國統方御の至社會
建設まじりての
知能と吾自に平人なり

一年二部 謀略者

此こをた 諸州 十

丁のメーデーをメーデー

た事とて可成り又難なり

正義と國統の國が

恢復すんを國統の

感為を在界に

二米と前より

三

あぐ大いりてしよメーデー

地球をあやむ

そとにありたる